



9月も暑い日が続くと思っていましたら、急に朝夕が涼しくなってきましたね。日々少しずつ変化する鵜川地区の山々の色合いを楽しみながら、ダムの工事を行えることに幸せを感じています。現在は、現場内を大型車両が通行するための工事用道路の造成が、順調に進んでいます。今月から現場の進捗状況などを皆様にわかりやすくお知らせしていきたいと考えておりますので、是非ご覧いただければと思います。

進捗状況

ダム右岸からの撮影



(9月下旬撮影)

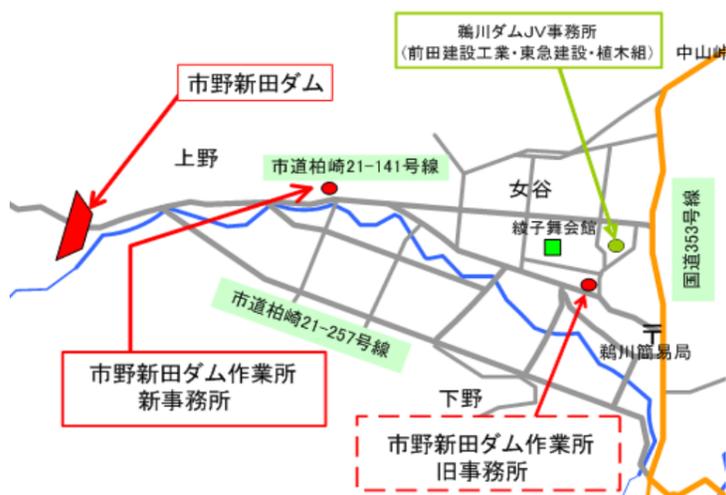


(10月下旬撮影)

この2枚の写真は同じ場所から撮影したものです。9月末に比べて10月末では山の伐採や掘削が進んでいます。現場内で働く重機も増えてまいりましたが、事故の無いよう、安全第一で作業しております。

???右岸、左岸とは???
ダムの現場ではよく方向を示すときに、「右岸」、「左岸」という言葉を使います。
ダムを流れる川の上流から下流を見たときに、左側を左岸、右側を右岸と言います。

☆新事務所に移転いたしました☆



完成した宿舎



出入口部

一旦停止

10月17日から新事務所に引越しを行いました。現場で働く人は、ここで生活をします。出入口部では車の動きが頻繁になると思われそうですが、一旦停止・左右の確認を徹底いたしますので、ご協力お願い致します。

☆こんなことをやっています☆

工事で発生した伐採材は産業廃棄物となります。市野新田ダム作業所では、伐採した木の枝や葉を破碎して、小さなチップを作ります。これを筒状のネットに詰めてフィルター材を作ります。このフィルター材を利用して、濁った水を川に直接流れないようにします。使い終わったフィルター材は、植生基材として法面吹付けにも再利用できます。



伐採材を集めます



破碎機を使いチップを作ります



チップができました



チップをネットに袋詰めします



これを濁水のフィルター材として使用します



吹付け状況です(予定)